

予算の概要

過去最大!

282億9,422万6千円

問 財政課 財政班 ☎(内線)3292

切れ目のない子育て支援と町民生活重視の予算

令和8年度の一般会計予算は158億900万円(対前年度比2.7%の増)、全会計の予算総額は282億9,422万6千円(対前年度比2.8%の増)で、共に過去最大となりました。

国からの交付金を活用した物価高対策に係る令和7年度補正予算と連動させ、町民皆さんの暮らしの安定を図るために「切れ目のない子育て支援と町民生活重視の予算」として編成しました。

一般会計

歳入

総額158億900万円

自主財源 102億8,372万7千円(65.0%)
依存財源 55億2,527万3千円(35.0%)

譲与税・交付金

12億8,400万円
地方譲与税と地方消費税交付金

町債

6億1,910万円
公共事業の財源とするための町の借入金

国・県支出金

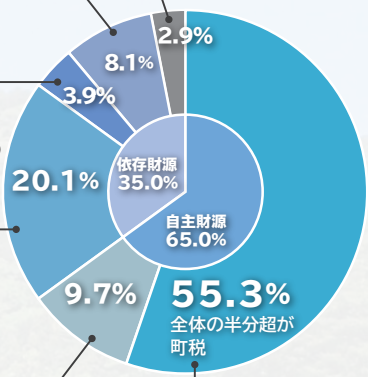
31億8,955万3千円
使い道が特定されている国や県からの補助金

その他自主財源

15億3,641万円
使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など

その他依存財源

4億3,262万円



町税

87億4,731万7千円
町民税や固定資産税、都市計画税など

歳出

総額158億900万円

その他

8億598万7千円
議会費、商工費、農林水産業費など

公債費

8億4,375万1千円
借り入れた町債の返済

消防費

10億8,127万6千円
消防や救急など

衛生費

13億7,508万5千円
健康増進、疾病予防、環境対策、ごみ処理など

土木費

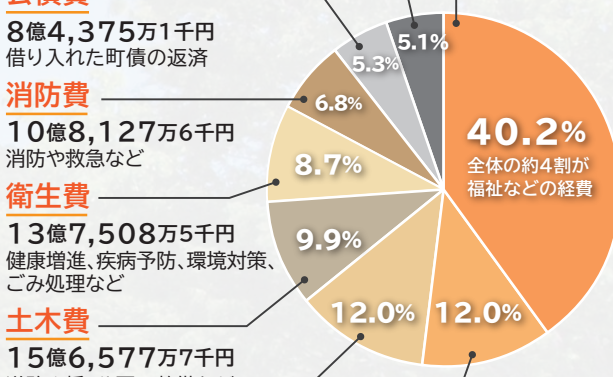
15億6,577万7千円
道路や橋、公園の整備など

総務費

18億9,055万5千円
防災、防犯、交通安全など

民生費

63億4,844万2千円
高齢者、障がい者、児童の福祉など



教育費

18億9,812万7千円
学校教育、社会教育、文化・スポーツ振興など

総務費

18億9,055万5千円
防災、防犯、交通安全など

過去5年間の当初予算の推移



各会計予算規模

会計名	予算額	構成比	前年度比増減率
一般会計	158億900万円	55.9%	2.7%
特別会計			
国民健康保険	45億7,100万円	16.2%	1.5%
後期高齢者医療	8億5,200万円	3.0%	17.0%
介護保険	38億円	13.4%	2.3%
小計	92億2,300万円	32.6%	3.1%
企業会計			
公共下水道事業	21億22万6千円	7.4%	1.3%
水道事業	11億6,200万円	4.1%	4.3%
小計	32億6,222万6千円	11.5%	2.3%
合計	282億9,422万6千円	100.0%	2.8%

新 乳児等通園支援事業

問 子育て支援課 子ども保育班 ☎(内線)3362

保護者の就労の有無に関わらず、幼稚園、保育所などを時間単位で利用できる、「こども誰でも通園制度」を開始します。

- 対象 0歳6カ月～満3歳未満で、保育所などに通っていないお子さん
- 実施施設 中津保育園
- 利用料 1時間300円(月10時間まで利用可)

新 RSウイルスワクチンの接種(無料)

問 健康推進課 母子保健班 ☎(内線)3341

RSウイルス感染症は、呼吸器の感染症で、多くの赤ちゃんが2歳までに感染するとされています。妊娠中にRSウイルスワクチンを接種することで、生後の赤ちゃんのRSウイルス感染症に対する効果が期待できます。

- 対象 接種日に町に住み票があり、妊娠28週から36週6日の間にある妊婦
- 開始時期 4月1日(水)
- 費用 無料
- 使用ワクチン 組み換えRSワクチン(商品名:アブリスボ)
- 接種回数 1回
- 接種場所 厚木医師会管内協力医療機関



町ホームページ「妊婦を対象としたRSウイルスワクチンが定期接種化されました」

管外での接種を希望させる場合、償還払いとして事前手続きが必要となりますので、健康推進課へご相談ください。

教育

新 小・中学校給食費への支援

国・県からの交付金などを活用して小学校給食費を無償化するとともに、中学校給食費も食材費の一部を町が負担することで、家庭の経済的な負担の軽減と子どもたちに栄養バランスの取れたおいしい給食を提供します。

安全・安心

新 第1号公園体育館への空調設備導入

指定避難所にもなっている第1号公園体育館に空調設備を導入し、利用者の熱中症対策とともに、避難所開設時の環境改善を図ります。

- 設置場所 体育室、柔道場、剣道場、卓球場

拡充 木造住宅の耐震診断・耐震改修工事等補助金制度

地震に強い安全なまちづくりを推進するため、平成12年5月以前の新耐震基準により建築された「新耐震グレーゾーン住宅」を耐震改修工事などの補助対象として追加したほか、補助金の上限額を引き上げました。詳しい内容は6ページをご覧ください。

暮らし

新・拡充 高齢者移動支援事業

問 高齢介護課 長寿いきがい班 ☎(内線)3338



新 高齢者バスフリーパス乗車券「かなちゃんパス」の購入費を一部助成します **6月1日(月)受付開始**
 「かなちゃんパス」購入助成を受けた方は、右記のタクシー利用料の助成は受けられません。

神奈川中央交通(株)の高齢者フリーパス乗車券「かなちゃんパス」の購入費の一部を助成します。

- 対象 令和8年1月1日以前から町内在住の70歳以上の方
- 申請方法 詳しくは「広報あいかわ」6月1日号でお知らせします。令和7年度に「かなちゃん手形」の助成を受けた方にはお知らせを郵送します。
- 助成金額 (年度内いずれか1回) 購入価格

1年券 20,000円	54,000円
6カ月券 10,000円	
3カ月券 5,000円	
	28,500円
	15,000円

拡充 高齢者の **4月1日(水)受付開始**
 タクシー利用助成額を **12,000円に拡大**します

町ホームページ「外出支援事業」

買い物・通院などの外出機会の拡大と、生きがいづくりの増進を図るための、80歳以上の方を対象としたタクシー利用料の助成を拡大します。

- 対象 令和8年1月1日以前から町内在住の80歳以上の方
- 助成内容 12,000円分のタクシー利用券(現行の5,400円から拡大)
- 申請方法 本人確認書類(マイナンバーカードなど)をお持ちの上、高齢介護課へ

新 1世帯7,000円に加え、19歳以上の方1人3,000円の「愛川くらし応援券」

問 商工観光課 商工労政班 ☎(内線)3524

町ホームページ「物価高騰等対策地域振興券『愛川くらし応援券』のご案内」



3月27日・28日の引き換え期間中に受け取りができなかった方には、次の方法で配布します。

- 場所・時間
 - 役場4階 商工観光課 平日の午前8時30分～午後5時
 - ラビンプラザ、レディースプラザ 4月30日(木)までの毎日 午前9時～午後8時(4月28日(火)の休館日を除く)
- 注意事項
 - 受け取りの際には、氏名が印刷されている「引換券」を必ずお持ちください。
 - 「引換券」がない場合は、商工観光課へお問い合わせください。

18歳以下のお子さんには、1人当たり2万円の「子育て応援手当」を、2月19日から順次支給しています。詳しくは町ホームページをご覧ください。

町ホームページ



**健康で
ゆとりとふれあいの
まちづくり**



**拡充
保育士等サポート給付金**

町内の民間保育施設の人材確保のため、対象施設の常勤保育士などへの給付金を増額します。

●対象施設 町内の認定こども園、小規模保育施設、幼稚園

●給付額

月額1万2千円
(現行の月額1万円から拡大)

**拡充
乳幼児健康診査事業**

町の乳幼児健康診査で、新たに3歳6カ月児健診(集団)に「目の屈折検査」を導入するほか、10月以降に生まれたお子さんを対象に「1カ月児健康診査(個別健診)」の費用負担の一部(4千円)を助成します。

**拡充
妊婦健康診査**

7月から、妊婦健康診査費用の補助券を増額します。

●対象 医療機関における健診14回分
(助産所での妊婦健康診査も対象)

●助成額

合計10万円
(現行の7万5千円から拡大)

**拡充
成人歯科健診事業**

成人歯科健診で、50歳から80歳までの5歳刻みの年齢の方を対象に、口腔機能全体の機能低下を防ぐための「オーラルフレイル健診」を新たに実施します。

**拡充
がん検診推進事業**

40歳以上の方を対象に実施する胃がん検診で、これまでのバリウム検査に加え、新たに50歳以上を対象とした内視鏡検査を実施します。

**豊かな人間性を育む
文化のまちづくり**



**拡充
学校水泳授業の民間委託**

令和7年度に試験的に実施した中津第二小学校、菅原小学校に加え、中津小学校、高峰小学校の計4校の水泳授業を民間業者に委託します。



**新
小・中学校統合型
校務支援システムの導入**

教育現場で扱うデータを電子化できる「統合型校務支援システム」の導入により業務改善を図り、教員の働き方改革を推進します。

**拡充
校内支援センターの充実**

不登校や、集団生活に不応傾向のある児童・生徒などを支援するため、各小・中学校に設置されている「校内支援センター」について、指導にあたる支援員の勤務時間を拡大し、不登校対策の充実を図ります。

**新
スクールロイヤー相談業務委託**

いじめ、学校事故などの法的問題について、法律の専門家から助言を得て、トラブルの未然防止と早期解決を図るとともに、教職員が教育活動に専念できる環境を整備します。

**新
中学生交通安全教室の実施**

4月1日からの自転車への交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)の適用を受け、交通安全教室を町内3中学校で開催します。



**拡充
メタバースを活用した
居場所づくりの研究**

インターネット上の仮想空間「メタバース」の活用について、横浜国立大学と連携した研究を進めます。本年度は、アバターを通して他者と協力しながらまちづくりなどができるアプリ「メインクラフト」を導入し、学校に行きづらい児童・生徒に、安心して過ごせる居場所を提供します。

**新
児童館・地域公民館施設
維持管理費交付金**

光熱水費の高騰などにより、児童館や地域公民館などの維持管理費が増大していることから、各行政区に一律10万円を交付し、経費負担の軽減を図ります。

**新
古民家山十郎
LEDキャンドルディスプレイ展示会の開催**

神奈川工科大学と連携し、LEDキャンドルディスプレイの展示会を開催し、山十郎の新たな魅力の創造・発信を図ります。

学校施設改修事業

中津小学校、高峰小学校、中津第二小学校の校舎内照明機器をLED化するなど、学習環境の改善を図ります。

**産業と交流による
にぎわいのまちづくり**



観光・産業連携拠点づくり事業

地域の活性化を図るため、神奈川トヨタ自動車(株)との官民連携を基本として拠点整備事業を進めます。

**新
危険木伐採等補助金**

急傾斜地崩壊危険区域以外の私有地内の、立ち枯れや倒木の恐れのある「危険木」の伐採費用の一部を補助します。

●補助率 伐採費用の2分の1(上限30万円)

**拡充
有害鳥獣対策事業**

イノシシやシカなどの捕獲・駆除活動を行う有害鳥獣対策実施隊員の出勤手当を増額し、安定的な体制の維持に努めます。

●出勤手当 出勤1回当たり8千円
(現行の4200円から拡大)

**安全で
安心して喜ばせる
まちづくり**



**新
愛川聖苑予約システムの導入**

愛川聖苑の予約について、スマートフォンやパソコンで24時間申し込みができるよう、予約システムを導入します。

新 半原分署庁舎長寿命化改修工事

昭和59年度に建設された消防半原分署について、令和9年度までの継続事業として、本年度は内部改修、外壁改修などの工事を行います。

新 高規格救急車の更新

年々増加する救急件数に対応するとともに、救急の高度化を図るため、消防署半原分署の高規格救急車を更新します。



新 消防救急「デジタル無線（活動波）」整備事業

平成28年度から本格運用している「消防救急」デジタル無線（活動波）について、平成26～27年度に整備した機器が耐用年数を迎えるため、更新します。

新 林野火災対応資機材整備事業

全国各地で大規模な林野火災が発生していることから、林野火災に特化した資機材を購入し、消防活動の充実強化を図ります。

新 多言語機能別消防団防災研修

多言語機能別消防団員などを対象に、災害時における通訳技術に関する研修を実施し、共生社会における防災力の強化を図ります。

新 外国籍住民のための生活講座

外国籍住民の生活をサポートするため、日常生活における基礎的な情報を提供する講座を実施します。

新 下水道管渠耐震診断業務

避難所などの重要施設に接続する下水道管渠およびポンプ場の汚水管を耐震化していくための耐震調査を行います。

自然と人が共生したまちづくり



新 中津工業団地第1号公園再整備事業

経年劣化しているテニスコート4面の人工芝を張り替えるほか、ブルの跡地を駐車場などとして整備するための実施設計を策定します。

新 公園等配置適正化に向けた基本分析業務

77箇所の公園などの配置適正化に向け、利用実態の調査や人口分布などの既存データをGIS（地理情報システム）により可視化し、客観的・多角的な分析を行います。

拡充 ごみと資源の分別ガイドの翻訳

現在、6言語（スペイン語・ポルトガル語・英語・中国語・タイ語・クメール語）で発行している「ごみと資源の分別ガイド」について、新たにベトナム語版を発行します。

中津地内水道みち「パイアロード」整備事業

第2号公園付近の水道みち中央分離帯に、引き続きパイアヤを植栽し、憩いの空間を作ります。

新 田代「館山」桜の名所づくりプロジェクト事業

田代「館山」を桜の名所とするため、官民連携の協働事業により、未来への景観づくりとして、桜の植栽プロジェクトに引き続き取り組みます。

桜苗木の植樹式を行いました

3月14日（株）織戸組や（公財）日本花の会の皆さんをはじめ、地元自治会の方々や町内の小・中学生など21人が参加し、桜苗木の植樹式を行いました。



小野澤町長と参加者代表の皆さんで植樹

共に創る 持続可能なまちづくり



新 総合計画・後期基本計画の策定

町政運営の基本となる「第6次愛川町総合計画」の「前期基本計画」の計画期間が令和10年度をもって終了することから、令和11年度から16年度までを計画期間とする「後期基本計画」を策定します。

新 町内循環バスの見直し

地域公共交通計画を基に、町内循環バスのダイヤやルートなどの見直しについて法定協議会で検討を行います。

新 ウォーターPPP導入可能性調査業務

民間事業者のノウハウや創意工夫を活用して下水道施設の管理や更新を行う官民連携手法「ウォーターPPP」の、導入可能性調査を行います。

新 公開型GISの構築

都市計画情報などをインターネット上で閲覧できる「公開型GIS」を構築し、データを活用しやすい環境を整備します。

●公開対象 都市計画基本図、ハザードマップ、下水道管網図など

新 道路境界確定図電子化事業

窓口サービスの向上を図るため、現在、紙で管理している道路境界確定図を電子化し、検索・閲覧の利便性の向上を図ります。

新 役場庁舎等あり方・機能等検討事業

築50年を経過した本庁舎の建て替えのため、将来の行政サービスのあり方や庁舎周辺施設の機能再編を含めた検討を行い、令和9年度にかけて基礎資料を作成します。

拡充 官学連携による地域ブランドの推進

桜美林大学との協働事業として、「愛川ブランド」を題材に学生によるCM動画作成実習を行い、ブランドの知名度向上を図ります。